アルツハイマー病に伴い妄想や幻覚の症状がみられる患者さんやご家族の方、介護者の方へ

アルツハイマー病に伴う幻覚・妄想に対する新しいお薬の治験を行っています

治験とは？　開発中のお薬の効果と安全性を検討するための臨床試験です。

対象疾患

アルツハイマー病に伴う精神病を発症すると、現実にはないものを見たり、聞いたり、信じたりするようになります。中等度から重度になると現れる妄想や幻覚です。

これには、迫害妄想、浮気妄想、見捨てられ妄想、誤認妄想、または亡くなった親しい家族が今も生きているという思い込みが含まれます。

ご参加いただける方

1. **55～90歳の方**
2. **中等度から重度の精神病（幻覚および/または妄想）を伴う軽度から重度のアルツハイマー病と診断されている方**
3. **すべての来院に付き添い、参加者の状態を報告し、薬剤及び治療を監督し、いくつかの書面による治験評価に参加できる介護者がいる方**

その他いくつかの参加基準があります。
詳しくは以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

このような患者さんはいらっしゃいませんか？

- 他の人が自分から何かを盗んでいると仰ってる患者さん



- 家族が自分を見捨てようとしていると仰ってる患者さん



- その場にいない人に話しかけられている患者さん



妄想や幻覚にはその他にもいくつかの種類があります。

この治験について

要件を満たした場合、2週間に1回、来院していただきます。
参加期間は約22週間です。
この治験では、アルツハイマー病に伴う精神病の治療における治験薬の安全性と有効性を評価します。



横浜市立みなと赤十字病院
第1版 2026年1月21日作成